

項目	※	重点目標・具体策 (○：市の重点目標)	取組状況・成果・課題	改善策	学校関係者の評価者の意見等
学校運営・教育課程	2 (1) (10)	○「生きる力」を育む特色ある教育課程の編成、実施に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校目標の具現化をめざし、感染症対策を講じながら生徒の主体的な活動を促す教育課程の実施に努めた。</li> <li>授業力向上をめざし相互授業参観や「めあて」の明確化、「振り返り」の活用に取り組んだ。</li> <li>1・2年生ではコミュニケーションの技術の向上を図る活動（ソーシャルスキルトレーニング）を取り入れた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらに主体的な活動ができるように、生徒が自分で考え判断し、自己有用感を高めることができるような教育課程の編成に努める。</li> <li>授業力向上のために、校内研修の内容を充実させていく。</li> <li>P D C Aサイクルを生かして行事や各種活動の充実に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策を講じながら、行事等工夫して実施されていた。さらに生徒が主体となる活動を展開していったほしい。</li> <li>「めざす学校像」を明確化し、今後その具現化に向けた取り組みを推進してほしい。</li> </ul>
		●「めざす学校像」の具現化に向けて本年度の努力点の重点化を図り、指導の充実に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業実践を通じた授業改善や指導力の向上に努めた。ICT機器を積極的に活用して、わかる楽しい授業を推進した。教員同士で互いに授業参観し指導力の向上に努めた。</li> <li>ともに認め合い学びに向かう集団づくりに努めた。道徳の授業を中心に「ローテーション道徳」や「ハートフルタイム」など道徳教育の推進を図った。</li> <li>主体的な活動を通して自主的・協働的な集団づくりに努めた。生徒会活動の活性化に努めた。キャリア教育の充実に努め「キャリアパスポート」の蓄積を実践した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器を活用（特にタブレット）した授業の推進をし、ICT機器活用研修の充実を図る。</li> <li>道徳の時間で学んだことを実践できるような活動や行事を取り入れていく。</li> <li>地域の資源を生かした学習や活動を年間計画に位置づけ、実践活動の蓄積をしていく。</li> </ul>	
学習指導	2 (2) (5) (7) (10)	○知的学力を保障し、学ぶ意欲を引き出し、コミュニケーション能力を育む確かな指導力に裏付けられた質の高い授業の展開に努める	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的・対話的で深い学びの実践をめざし、ICT機器の活用やホワイトボードなどを用いた協働的な学習、課題解決的な学習などを実施してきた。</li> <li>生徒の主体性を高める手立てとして、授業における「めあて」の明確化と「振り返り」の実践を展開した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が主体的に学ぶことのできる教材や教具、指導方法の共有を図るために、学習指導部会を時間割上に位置づける。</li> <li>現職教育と連携して研修の機会を確保する。</li> <li>ねらいに即した「振り返り」を実践し、その効果を検証していく。また、生徒の主体性の変容を質問紙などで調査していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力向上には、学ぶ楽しさを味わわせることが大切である。教える側も学ぶ側も楽しいと思える授業を展開してほしい。</li> <li>ICT活用は、生徒主体の学習で効果的な活用の方法や不登校等の学びの保障もつなげる活用方法を研修してほしい。</li> </ul>
		●授業実践を通じた授業改善及び指導力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部機関と連携して授業研究会を2回実施し、学校課題である「主体的に学びに向かう生徒の育成」を視点として研究協議を行った。</li> <li>相互授業参観を年2回実施し、他教科・他学年の授業を見ることで、指導法や情報の共有ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業や授業研究会の回数を通して、生徒の学びを見取る力を養い、更なる授業力の向上を図ることできるようにする。外部との連携を更に進め教職員が新しい学力観に基づいた授業を展開できるようにする。</li> <li>相互授業参観を継続するとともに、指導法の共有を図り、生徒理解・生徒指導に生かすことができるようにする。</li> </ul>	

児童生徒指導	2 (3) (4)	<p>○学級を核とした、相互理解に基づく望ましい集団づくりに努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級ごとに行った「あいさつ週間」は、期間後も、生徒が主体となり活動を継続する姿が見られた。</li> <li>・行事等を通して、相互理解に基づいた集団づくりに努めた。</li> <li>・SCやSSWR、すこやか推進室等、諸機関との連携を図り情報を共有し、生徒指導に生かした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級ごとに行っている主体的な活動を、学年や学校全体に広めていく。学年集会や生徒会活動、全校集会などで承認したり、広めたりしていく。</li> <li>・今後もSCやSSWR、すこやか推進室等と連携して、生徒理解に努め指導に生かしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が考える場面を設定し、成功体験を味わわせることで自信をもたせ、主体性やリーダーシップの育成を図ってほしい。</li> <li>・外部との連携を密にし、思春期の心のケアに努めてほしい。</li> </ul>
		<p>●ともに認め合い、学びに向かう集団づくりに努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科や道徳、特別活動等を通して、生徒が互いに認め合う雰囲気づくりに努めた。</li> <li>・意図的に賞賛の場を設けることで自己肯定感の高揚を図り、自信をもって活動できるよう努めた。</li> <li>・当たり前なのがきちんとできる生徒の育成に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の認め合いだけでなく、学級などの集団での認め合いも行っていく。</li> <li>・きちんとやっている生徒を承認することで、よい雰囲気を作っていく。</li> <li>・行事や特別活動、部活動などを通して、主体的な活動を促し、リーダーの育成を図る。</li> </ul>	
特別支援教育	2 (6)	<p>○関係諸機関と適切な連携を図った、児童生徒一人一人に応じた指導に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携を図り、生徒理解に努め有効に活用できた。</li> <li>・関係機関からの助言や情報を基に、家庭とも情報共有し、一人一人に応じた支援に役立てることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携なくしては支援が成り立たないので、今後も連携に努めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人一人の理解に努め、関係機関との連携を図りながら、個に応じた支援を行ってほしい。</li> </ul>
		<p>●個別の応援計画の作成と活用を徹底し、一人一人を大切にされた指導に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の課題を明確にして、個別の教育支援計画を作成し、よいところを伸ばすながら様々な手立てを考え支援に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の教育支援計画をさらに指導に生かすために、支援機関一覧の引継ぎの方法等、改善策を考えたい。</li> <li>・教育機関一覧はデータベースで引き継ぐか、紙ベースで朱書訂正しながら加筆していく等の工夫をする。</li> </ul>	
保健・安全管理	2 (8)	<p>○心身ともに健康で明るく安全な生活を送るための基礎が培われるよう、健康教育の充実に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の予防対策について、三師との連携を図り、生徒に働きかけ実践に努めた。体温測定をすることで、自分の健康に興味関心をもつ機会となった。</li> <li>・保健だより等を通して、感染症に関する知識の普及に努めた。</li> <li>・生徒の体調、傷病の状況等について、職員間での連携を図り、早期対応に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続して感染症予防を実践し、正しい知識を情報として発信し、その定着に努める。</li> <li>・感染症に対する環境整備の充実に努めたい。</li> <li>・体を動かすことを目的とした、家庭でもできる運動を紹介し、家庭でも適度な運動をするよう働きかけていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も感染症等の予防に努め、生徒の健康管理に努めてほしい。</li> <li>・安全については、登下校やバス乗車等、保護者への啓発を含めて協力体制を整え、今後も事故のないように努めてほしい。</li> </ul>
		<p>●心身共に健康で明るく安全な生活を送るための基礎が培われるよう、安全教育の充実に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全指導計画に基づき、交通安全教室とバス乗車指導を実施した。また、PTAと連携しバス乗車指導や下校指導を行い、乗車のマナーや下校時の安全について現地指導をした。</li> <li>・休み時間の過ごし方等を指導し、けがの防止に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な乗車指導を実施し、継続的に指導する。バス乗車による注意事項を保護者と共有し、家庭と連携することで、より安全な乗車ができるようにする。</li> <li>・生徒の安全に対する意識を高め、安全な行動をとることができるよう取り組んでいく。</li> </ul>	

地域との連携	2 (5) (9)	<p>○地域連携教員を要として、地域の特性を生かした教育活動を展開し、地域に根ざした特色ある開かれた学校づくりに努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土芸能部の活動として地域の協力のもと、定期的にお囃子の練習活動が行われ、披露する機会をもつことができた。</li> <li>学校ホームページを通して、地域や保護者に情報を発信した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山あげ祭り、町おこしなど、地域に抱負に散在する人材を積極的に活用する工夫をする。</li> <li>ホームページや各種たよりの充実に努め積極的に情報を発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開かれた学校をめざし、地域連携教員や地域コーディネーターを中心とした活動が展開されてきた。より充実した活動を期待したい。</li> <li>子供たちを学校と地域で育てていくという認識にたち、長く継続して取り組んでいくことが大切である。</li> </ul>
		<p>●地域と連携した特色ある活動を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な学習の時間を通して、地域の現状や課題を学ぶ機会を設けた。</li> <li>地域おこし協力隊経験者や職業人を迎えて講話を実施し、働くことの意義や心構えなどを聞くことができた。</li> <li>地域コーディネーターや生涯学習課と連携して学校行事や授業等のサポート、人材・資材等の支援を受けることができた。また、生徒とともに校庭の緑化活動に取り組んだ。</li> <li>ジオパーク構想推進協議会に参加し地域の歴史、自然について解説をいただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方々との連携を進め、企画から提案や助言を生かし行事や授業を展開していく。</li> <li>公民館や生涯学習課との連携では、校内だけにとどまらず、市の行事等の活動に発展していく。</li> <li>地域連携教員を中心とし、地域コーディネーターのとの連携を図り、生徒の活動の活性化に努める。</li> <li>小学校や烏山高校「烏山学」との連携を図り、総合的な学習の時間の課題やテーマづくりを進めていく。</li> </ul>	